

売買契約書（案）

公立大学法人沖縄県立芸術大学 理事長 波多野泉（以下「甲」という。）が次の物品を購入し、（以下「乙」という。）がこれを売却することについて、甲及び乙は下記の条項により売買契約を締結する。

第1条 物品名、数量、納入期限、納入場所、契約金額及び契約保証金額は次のとおりとする。

物品名	フォークリフト
数量	1台
性能等	別添仕様書のとおり
納入期限	令和7年 月 日
納入場所	沖縄県立芸術大学崎山キャンパス（沖縄県那覇市首里崎山町4-212-1）
契約金額	¥

なお、取引に係る消費税及び地方消費税は 円とする。

（注）「取引に係る消費税及び地方消費税額」は、消費税法第28条第1項及び第29条の規定並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定に基づき算出したもので、契約金額に110分の10を乗じて得た額である。

契約保証金額

第2条 乙は、契約書記載の物品を契約書記載の納入期限までに納入場所に納入し甲に引き渡すものとし、甲はその売買代金を支払うものとする。

2 乙は物品を納入しようとするときは、あらかじめその旨を甲に通知し、物品の納入と同時に納品書を提出しなければならない。

3 乙は、この契約の履行につき、甲の監督、指示に従わなければならない。

4 乙は、この契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

5 前項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第3条 乙は、甲の行う検査に合格した物品でなければ納入することができない。検査に要する費用及び検査のため変質し、変形し又は消耗破損したものは、すべて乙の負担とする。

2 乙は、甲の指定した日時、場所において検査に立会うものとする。乙は、立会いをしないときは、検査の結果につき異議を申し立てることができないものとする。

第4条 乙は、検査の結果不合格と決定した物品は遅滞なく引き取り、かつ、直ちに代品を納入しなければならない。

2 前項の場合、甲は1回に限り相当日数を指定して、代品納入又は手直しの期間を認めることができる。この代品納入又は手直しができたときは、さらに届け出て検査を受けなければならない。

第5条 乙は、納入物品が種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものであるときは、当該納入物品の修補、代替物の引渡し又は不足分の引渡しを行わなければならない。

第6条 乙が、前条の納入物品の修補、代替物の引渡し又は不足分の引渡しに応じないとき、その他この契約から生ずる義務を履行しないときは、甲は、乙の負担でこれを執行することができる。このために乙に損害が発生することがあっても、甲は賠償の責任を負わないものとする。

第7条 乙は、天災地変その他やむを得ない理由により納入期限までに物品を納入することができないときは、その理由を詳記して期限延長の願出をすることができる。

2 前項の願出は、納入期限までにしなければならない。

3 甲は、第1項の願出が正当と認めたときは、これを承認し、第9条の違約金を免除することができる。

第8条 契約金額は、検査の完了後、甲は乙の適正な請求書を受理した日が属する月の翌月末までに支払うものとする。ただし、特別の理由がある場合にはこの限りでない。

第9条 乙は、納入期限までに物品の納入を終了しないときは遅滞日数に応じ未済部分の契約金額に対し年3.0パーセントの割合の金額を違約金として甲に納付しなければならない。

第10条 この契約の履行について生ずる一切の損害は、乙が負担するものとする。

第11条 甲は、必要があるときは、乙と協議の上、この契約の内容を変更し、又は納入を中止させることができる。

2 前項の場合において、契約金額を増減する必要があるときは、単価により算定し、もし、これを甲において不相当と認めるとき、又は期限を伸縮する必要があるときは、甲の相当と認めるところによるものとする。

第12条 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

1 乙がこの契約を履行する見込みがないと明らかに認められるとき。

2 乙が正当な理由なくして通常考えられる契約履行のための着手時期を経過しても着手しないとき。

3 乙が正当な理由なくしてこの契約の各条項に違反したとき。

4 役員等（乙が個人である場合にはその者を、乙が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。

5 暴力団（暴力団対策法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。

6 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用したと認められるとき。

7 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的又は積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与していると認められるとき。

8 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

第13条 乙は、この契約から生ずる権利義務を第三者に譲渡し、又は担保に供してはならない。

第14条 乙は、この契約について契約事項に明示されていない事実でも、物品の供給上当然必要なものは、甲の指示にしたがい乙の負担で施行するものとする。

第15条 この契約書に定めのない事項またはこの契約書の条項について疑義を生じたときは、甲、乙協議するものとする。

この契約の成立を証するため本書2通を作成し双方記名押印して各1通を保有する。

令和 年 月 日

甲 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4
公立大学法人沖縄県立芸術大学
理事長 波多野 泉

乙